

### III 教育課程(経営学部)

#### 1 経営学科カリキュラム

2020（令和2）年度入学者

#### 経営学科の学士（経営学）授与の基本的な考え方および教育課程編成・実施方針

- (1)「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」
- (2)「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」

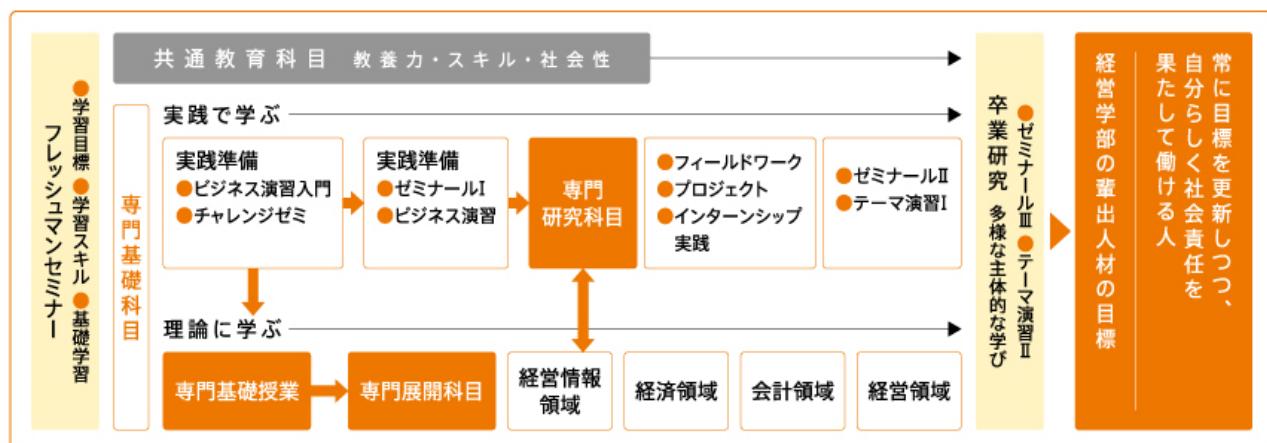
本学ホームページの【教育研究上の目的と3つのポリシー】に記載されていますので、以下の【URL】または、【QRコード】を読み取り、参照してください。

【URL】 <https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/education/department/business/>

【QRコード】



#### （3）経営学部カリキュラム体系



#### （4）経営学部履修モデル

経営管理モデル	組織における経営資源の三要素（ヒト・モノ・カネ）を効率的かつ効果的に運用するための方法を理論と実践から学ぶ
地域開発モデル	まちづくりや地域ブランドの創造など地域活性化を推進するための方法を観光とマーケティングの理論と実践から学ぶ
企業会計モデル	企業業績の測定と公開、また納税など社会的責任を首尾よく果たすための方法を理論と実践から学ぶ
情報マネジメントモデル	IoT や AI などの出現によって新たにデザインされつつある現代企業の情報戦略を理論と実践から学ぶ

# 経営学部 カリキュラム表 2020（令和2）年度入学者

経営学科			授業科目の名称	授業形態	配当年次	1年		2年		3年		4年		区別単位数			必修○、必履修（◎）、選択必修○、選択△ 卒業要件				
大	中	小				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	必修・ 必履修	選択必修	選択					
基本教育科目	スキル養成	情報と分析力	情報活用法 I	演習	1前	◎								2			6単位以上	16単位以上			
			情報活用法 II	演習	1前	◎								2							
			情報社会論	講義	1後		△														
			基礎統計学	講義	1前	◎								2							
			基礎数学	講義	1前	△								2							
		表現力	日本語技法 A	演習	1前	◎								2			10単位以上	45単位以上			
			日本語技法 B	演習	1後		△														
			英語 A	演習	1前	◎								2							
			英語 B	演習	1後		◎							2							
			英語 C	演習	2前			○						2							
			英語 D	演習	2後				○					2							
			英語コミュニケーション A	演習	1前	○								2							
			英語コミュニケーション B	演習	1後		○							2							
			英語コミュニケーション C	演習	1前	○								2							
			英語コミュニケーション D	演習	1後		○							2							
	社会性養成	キャリアの形成	中国語 A I	演習	1前	○								2			2単位以上	12単位以上			
			中国語 A II	演習	1後		○							2							
			中国語 B I	演習	1前	○								2							
			中国語 B II	演習	1後		○							2							
			フランス語 A I	演習	1前	○								2							
			フランス語 A II	演習	1後		○							2							
			フランス語 B I	演習	1前	○								2							
			フランス語 B II	演習	1後		○							2							
			ドイツ語 A I	演習	1前	○								2							
			ドイツ語 A II	演習	1後		○							2							
			ドイツ語 B I	演習	1前	○								2							
			ドイツ語 B II	演習	1後		○							2							
			ハングル A I	演習	1前	○								2							
			ハングル A II	演習	1後		○							2							
			ハングル B I	演習	1前	○								2							
			ハングル B II	演習	1後		○							2							
	人間理解	キャリアの形成	キャリア設計	演習	1後	(◎)								必履2			2単位以上	12単位以上			
			キャリア開発	演習	2通		△	△							2						
			キャリア研究	演習	3前				△						2						
			国際体験研修	演習	1~4集中										2						
		社会との関わり	フレッシュマンセミナー	演習	1通	(◎) (◎)								必履4			10単位以上	12単位以上			
			いしのまき学	演習	1前	(◎)								必履2							
			復興ボランティア学	演習	1前	◎								2							
			ボランティア論	演習	1後		◎							2							
			ボランティア演習	演習	2後				△						2						
			総合科目	講義	1前	△									2						
教養力養成	人間の理解	社会の理解	日本の歴史	講義	1前	○								2			2単位以上	10単位以上			
			世界の歴史	講義	1後		○							2							
			異文化理解の人類学	講義	1後		○							2							
			哲学－知の起源－	講義	1前	○								2							
			芸術と文化	講義	1後		○							2							
			日本文学へのいざない	講義	1前	○								2							
			心理学－心の科学－	講義	1前	○								2							
	自然の理解	社会の理解	社会学の世界	講義	1前	○								2			4単位以上	10単位以上			
			法と社会	講義	1前	◎								2							
			法と人権	講義	1後		○							2							
			経済と社会	講義	1前	◎								2							
			地理学－身近な地域から世界まで－	講義	1前	○								2							
	自然の理解	社会の理解	地域と政策	講義	1後		○							2							
			生命と地球	講義	1前	○								2							
			物質とエネルギー	講義	1後		○							2							
			環境と科学	講義	1後		○							2							
			健康科学と身体運動	演習	1前	◎		○						2							
① 基本教育科目合計																45単位以上					

経営学科			必修○、必履修(○)、選択必修○、選択△、卒業単位外▲															
科目区分		授業科目的名称	授業形態	配当年次	1年		2年		3年		4年		区別別 単位数				卒業要件	
大	中				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	必修・ 必履修	選択 必修	選択	卒業 単位外		
専門基礎科目	実践準備科目	企業組織とマネジメント	講義	1後		○							2				ビジネス演習入門は、1年 前期の必履修の選択科目	
		マーケティング基礎	講義	1後		○							2					
		簿記基礎	講義	1前	○								2					
		ビジネスと会計	講義	1後		○							2					
		ビジネスと情報	講義	1後		○							2					
	実践準備科目	ビジネス演習入門	演習	1前	(○)								必履2					
		ゼミナールI	演習	2通			○	○					4					
専門教育科目	経営学展開科目	企業論	講義	2前			△							2				ビジネス演習入門は、1年 前期の必履修の選択科目
		経営管理論	講義	2前			△						2					
		マーケティング戦略論	講義	2前			△						2					
		地域経営論	講義	2前			△						2					
		財産と法	講義	2前			△						2					
		企業組織と法	講義	2前			△						2					
		アントレプレナーシップ	講義	2後			△						2					
		経営組織論	講義	2後			△						2					
		流通論	講義	2後			△						2					
		株式と法	講義	2後			△						2					
	会計学展開科目	人的資源管理論	講義	3前				△					2					
		経営戦略論	講義	3前			△						2					
		非常利組織経営論	講義	3前			△						2					
		財務管理論	講義	3後				△					2					
		地域産業論	講義	3後				△					2					
		商業簿記	講義	1後			△						4					
		会計学	講義	2前			△						2					
		税法	講義	2後			△						2					
		財務諸表論	講義	2後			△						2					
		原価計算論	講義	2後			△						2					
専門展開科目	経済学展開科目	コンピュータ会計	講義	2後			△						2				ビジネス演習入門は、1年 前期の必履修の選択科目	
		税務会計論	講義	3前				△					2					
		管理会計論	講義	3前				△					2					
		経済学 I	講義	1後			△						2					
		観光実務 I	講義	1後			△						2					
		経済学 II	講義	2前			△						2					
		国際経済論	講義	2前			△						2					
		観光学	講義	2前			△						2					
		観光実務 II	講義	2前			△						2					
		観光実務 III	講義	2前			△						2					
専門教育科目	経営情報学展開科目	金融論	講義	2後			△						2				ビジネス演習入門は、1年 前期の必履修の選択科目	
		地域観光論	講義	2後			△						2					
		産業観光論	講義	2後			△						2					
		ホスピタリティ論	講義	2後			△						2					
		国際金融論	講義	3前				△					2					
		観光実務 IV	講義	3前				△					2					
		オペレーティングシステム論	講義	2前			△						2					
		プログラミング基礎	講義	2前			△						2					
		アルゴリズム論	講義	2後			△						2					
		データベース論	講義	2後			△						2					
実践科目	実践科目	マルチメディア通信論	講義	2後			△						2				ビジネス演習入門は、1年 前期の必履修の選択科目	
		情報システム演習	演習	3前				△					2					
		通信ネットワーク論	講義	3前			△						2					
		情報システム設計論	講義	3前			△						2					
		情報システム管理論	講義	3後				△					2					
		プログラミング応用	演習	3後				△					2					
		チャレンジゼミ	演習	1後			△						2					
		フィールドワーク I	演習	2通			△	△					2					
		プロジェクト	演習	2通			△	△					2					
		ビジネス演習	演習	2後				△					2					
専門研究科目	特別教養科目	フィールドワーク II	演習	3通					△	△			2				※ (表下部参照)	
		インターンシップ実践	演習	3通					△	△			2					
		特殊講義 I	演習	2前					△				2					
		特殊講義 II	演習	2前					△				2					
		特殊講義 III	演習	2前					△				2					
		特殊講義 IV	演習	2前					△				2					
		特殊講義 V	演習	2前					△				2					
		特殊講義 VI	演習	2前					△				2					
専門研究科目	研究科目	特殊講義 VII	演習	2前					△				2				卒業単位外	
		特殊講義 VIII	演習	2前					△				2					
特別教養科目	特別教養科目	ゼミナール II	演習	3通					○	○			4				卒業単位外	
		テーマ演習 I	演習	3通					○	○			2					
		ゼミナール III	演習	4通							○	○	4					
		テーマ演習 II	演習	4通							○	○	2					
		情報職業論	講義	2後							▲					2		
		職業指導	講義	3前							▲					2		
		コンピュータ概論 I	講義	1前	▲											2		
		コンピュータ概論 II	講義	1後		▲										2		
		プログラミング論 I	講義	2後							▲					2		
		プログラミング論 II	講義	3後							▲					2		
		情報ネットワーク	講義	3後							▲					2		
② 専門教育科目合計															7 9 単位以上			
合計単位数 (①+②)															1 2 4 単位以上			

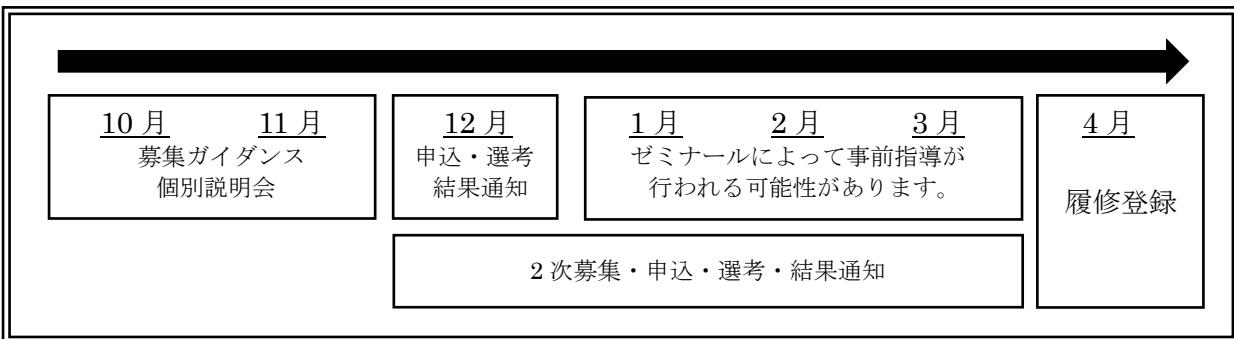
\* 卒業要件として、「ゼミナールⅢ」または「テーマ演習Ⅱ」を修得する必要がある。ただし、「ゼミナールⅢ」を履修するためには、「ゼミナールⅡ」の単位を修得済みでなければならぬ。また、「テーマ演習Ⅱ」を履修するためには、「テーマ演習Ⅰ」の単位を修得済みでなければならない。

経営学科				必修◎、必履修(◎)、選択必修○、選択△、卒業単位外▲										
科目区分		授業科目の名称	授業形態	配当年次	単位数	1年		2年		3年		4年		修得条件
大	中					前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
(教職科目)	教育心理学（中等）	講義	1後	2		▲								卒業単位外
	教育原理（中等）	講義	1後	2			▲							
	教職概論（中等）	講義	2前	2				▲						
	教育学概論	講義	2前	2				▲						
	生徒・進路指導の理論と方法（中等）	講義	2前	2				▲						
	教育相談の理論と方法（中等）	講義	2前	2				▲						
	教育制度論（中等）	講義	2後	2					▲					
	特別支援教育（中等）	講義	2後	2					▲					
	商業科教育法	演習	3通	4						▲	▲			
	情報科教育法	演習	3通	4						▲	▲			
	教育社会学	講義	3前	2						▲				
	教育課程論（中等）	講義	3前	2						▲				
	特別活動の指導法（中等）	講義	3後	2							▲			
	総合的な学習の時間の指導法（中等）	講義	3後	2							▲			
	道徳教育の理論と指導法（中等）	講義	3後	2							▲			
	教育方法論（中等）	講義	3後	2							▲			
	教育実習事前事後指導	講義	4前	1								▲		
	高等学校教育実習	実験・実習	4前	2								▲		
	教職実践演習（中・高）	演習	4後	2									▲	

## 2 ゼミナールについて

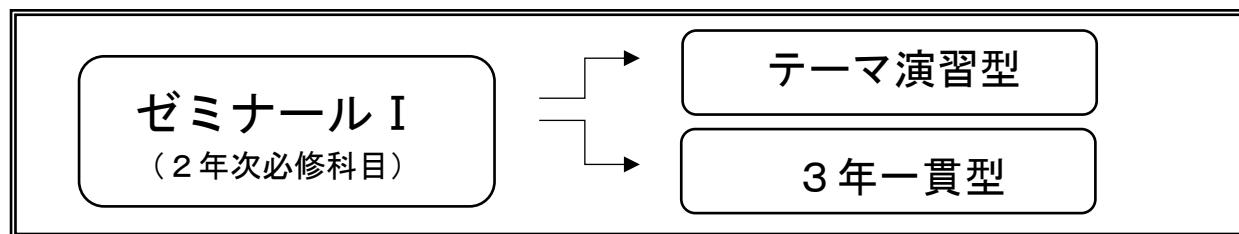
### 1年次

ゼミナール募集ガイダンスを実施。自分が希望するゼミナールの申込・選考が行われ内定者が決定する。



### 2年次

ゼミナールへの配属。「ゼミナールⅠ」は専門教育科目2年次必修科目であり、「3年一貫型」と「テーマ演習型」の形態に分けられる。



“3年一貫型”の目的

地域や社会の諸問題に関わり、それらの解決に向けた活動を行うことを目的とする。

“テーマ演習型”の目的

年度に解決するテーマを設定し、社会人に求められる基礎学力の養成を目的とする。

### 3～4年次

「ゼミナールⅡ・Ⅲ」または「テーマ演習Ⅰ・Ⅱ」を履修。

卒業要件として、「ゼミナールⅢ」、または「テーマ演習Ⅱ」を修得する必要がある。ただし、「ゼミナールⅢ」を履修するためには、「ゼミナールⅡ」の単位を修得済みでなければならない。また、「テーマ演習Ⅱ」を履修するためには、「テーマ演習Ⅰ」の単位を修得済みでなければならない。

### その他

#### ①フィールドワーク

3年一貫型のゼミナールを履修する学生は、単位認定者である指導教員の下「フィールドワークⅠ（2年次通年・選択2単位）」、「フィールドワークⅡ（3年次通年・選択2単位）」を履修することができる。この単位の認定に際しては、中間報告書の提出と学期末に実施する活動報告会への参加を要件とする。

#### ②ゼミナール変更

2年次から3年次に進級する際、「3年一貫型」から「テーマ演習型」にゼミの変更を認めるが、この逆は認めない。

#### ③卒業論文について

3年一貫型を履修する学生は、最終的にそれまでの成果を卒業論文としてまとめ、提出しなければならない。テーマ演習型を履修する学生は、单年度ごとに成果を報告することとする。

※卒業論文の提出日は年度によって異なる。当該年度の卒業論文提出日を確認する。

#### ④チャレンジゼミについて

3年一貫型のゼミナールは、担当教員の意思により、「チャレンジゼミ（1年次後期・選択2単位）」を開講することができる。その選考に当たっては、年度初めの教務ガイダンス（またはオリエンテーションセミナー）での説明、募集ガイダンスでの説明会を実施している。履修者は後期履修修正期間に登録を行う。

※チャレンジゼミは、後期履修修正期間に履修の修正（追加）を行うため、CAP上限に注意しなければならない。

### 3 石巻専修大学経営学部から専修大学経営学部への国内留学

「専修大学経営学部と石巻専修大学経営学部との学生交流事業に関する協定書」に基づく国内留学が平成29年4月より始まりました。

この国内留学は、石巻専修大学経営学部の学生が専修大学経営学部に一定期間在籍して授業科目を履修し、その成績評価に基づき石巻専修大学経営学部において単位の認定を行う制度です。

石巻専修大学の学生にとって、専修大学生田キャンパスで3年前期の半年間に体験できる学生生活は、さまざまな専門知識を習得したり、ゼミナール等で新たな人間関係を構築したりする絶好の機会となります。この体験を通じて幅広い視野と豊かな発想力が育まれます。

#### 《国内留学のポイント（平成29年度から事業開始）》

- ・対象学年は経営学部3年次
- ・国内留学期間は4月から8月〔前期〕
- ・専修大学経営学部では10科目20単位まで履修可能
- ・専修大学経営学部ゼミナールに所属
- ・専修大学における授業料、施設費、教育充実費及び検定料は不要
- ・宿泊は専修大学の施設を利用することができる

#### 国内留学の出願から決定までのスケジュール



#### 授業・施設の利用について

##### 1 履修科目、履修方法等

- ① 受入学生は、専修大学のゼミナールに所属する。  
※ゼミナールへの受入は、年度によって異なる。
- ② 履修上限単位数は、20単位（ゼミナールを含まず）とする。
- ③ 可能な限り石巻専修大学及び専修大学における所属ゼミナールの研究テーマと関連のある科目を中心に履修する。
- ④ 修学期間中の履修科目の変更は、原則として認めない。
- ⑤ 受入学生が履修できる科目、履修方法及び試験実施方法は、専修大学経営学部の定めるところによる。

##### 2 成績評価、単位の認定等

専修大学経営学部における成績評価は、専修大学の科目担当者の定める成績評価方法に基づき行う。  
単位の認定は、専修大学からの成績報告に基づき、石巻専修大学において行う。

##### 3 授業料等

専修大学における授業料、施設費、教育充実費及び検定料等は徴収しない。  
ただし、実習・教材等で費用が必要となる場合は、その実費を徴収することができる。

##### 4 施設及び設備の利用

専修大学は、図書館その他の施設及び設備を利用できるよう可能な限り尽力するものとする。  
利用方法は、専修大学の定めるところによる。

## 5 住居

- ① 宿泊費及びその他経費は、自己負担とする。
- ② 生田研修館を利用する場合は、費用を徴収する。
- ③ 生田研修館以外の宿泊施設を利用する場合は、専修大学は一切の責任を負わない。

## 6 通学

専修大学での通学については、自家用車での通学は許可しない。

## 7 受入学生の身分

石巻専修大学から専修大学に受け入れた学生（以下「受入学生」という。）の身分は特別聴講生とする。  
専修大学においては、「特別聴講生証」を発行する。

### ①学生交流事業に関する協定書（抜粋）

専修大学経営学部と石巻専修大学経営学部（以下これらを「両学部」という。）は、両学部間の協力関係を樹立し、相互の学生交流を促進することを目的として、以下の事項について合意に達したので、ここに協定書を取り交わす。

#### （交流事業の目的）

第1条 この協定は、両学部の学生が相互に学び合うことで、幅広い視野と新たな問題にチャレンジする積極性を育むことを目的とする。

#### （交流事業の名称）

第2条 この協定による交流事業の名称は、「専修大学経営学部と石巻専修大学経営学部との学生交流事業」とする。

#### （交流事業の範囲）

第3条 交流事業の範囲は、原則として、次のとおりとする。

- (1) 国内留学
- (2) 学生の交流
- (3) 文化活動

#### （交流事業の実施）

交流事業の実施に関する具体的な事項については、別に定める。

### ②国内留学に関する覚書（抜粋）

専修大学経営学部と石巻専修大学経営学部は、「専修大学経営学部と石巻専修大学経営学部との学生交流事業に関する協定」（以下「協定」という。）に基づき、以下の事項について合意に達したので、ここに覚書を取り交わす。

#### （主旨）

第1条 専修大学経営学部と石巻専修大学経営学部との学生交流事業は、専修大学経営学部及び石巻専修大学経営学部の学生が、所属する学部（以下「所属学部」という。）を離れ、国内留学により、受け入れた学部（以下「受入学部」という。）に一定期間在籍し、その授業科目を履修し、その成績評価に基づき所属学部において単位の認定を行うことができる制度である。

#### （名称）

第2条 この覚書による交流事業の名称は、「専修大学経営学部と石巻専修大学経営学部との国内留学」とする。

#### （受入れ対象者）

第3条 協定により受け入れができる学生は、専修大学経営学部又は石巻専修大学経営学部の正規課程に所属する学生とする。

#### （選考及び決定）

第4条 協定に基づき国内留学に参加することができる学生の選考及び決定は、所属学部からの推薦に基づき受入学部において行う。

### ③国内留学に関する募集要領（抜粋）

#### 1 趣旨

この制度は、両学部間の協力関係を樹立し、相互の学生交流を促進することを目的とした「専修大学経営学部と石巻専修大学経営学部との学生交流事業に関する協定書」に基づき、石巻専修大学経営学部の学生が、専修大学経営学部に一定期間在籍し、ゼミナールへの所属と石巻専修大学にはない多様な授業科目を履修することにより、両学部の学生が相互に学び合うことで、幅広い視野と新たな課題にチャレンジする積極性を育むことを目的とする。石巻専修大学経営学部の学生が、専修大学経営学部で履修した授業科目は、石巻専修大学経営学部の定める基準の範囲内で単位が認定されるものとする。

#### 2 出願資格

出願時に石巻専修大学経営学部の2年次に在学し、所定の条件を満たした者で、国内留学時において3年次のものとする（2年前期終了時のGPAが2.7以上（3.0以上が望ましい）のもの）。

#### 3 受入学生の身分

石巻専修大学から専修大学に受け入れた学生（以下「受入学生」という。）の身分は、特別聴講生とする。専修大学においては、「特別聴講生証」を発行する。

#### 4 受入人数

受入学生の人数は、10名を限度とするが、必要に応じ両学部間で調整を行い、決定する。

#### 5 在籍期間

専修大学における在籍期間は、原則として、専修大学における前期授業期間又は後期授業期間とする。ただし、特別な事由がある場合に限り、年度内において、最長1年間を限度として延長することができる。

#### 6 募集・出願について

- (1) 専修大学経営学部は、受入可能なゼミナール、提供する授業科目、受入可能学生数等を石巻専修大学経営学部に提示する。
- (2) 石巻専修大学経営学部は、募集要領に基づき、募集要項を作成し、募集活動を行う。
- (3) 志願者は、願書及び宿泊先希望調査票を石巻専修大学へ提出する。
- (4) 石巻専修大学経営学部は、提出された特別聴講生願書を基に資格等の確認、選考を行い候補者を決定する。
- (5) 候補者に決まった学生は、履歴書、成績証明書、履修希望科目及び希望宿泊先記入用紙を石巻専修大学へ提出する。
- (6) 石巻専修大学経営学部は、受入依頼書を作成し、履修希望科目、2年次までの成績証明書、宿泊先希望調査票を専修大学経営学部へ送付する。
- (7) 専修大学経営学部は、送付された書類と受入希望ゼミナールを基に選考及び決定し、結果を石巻専修大学経営学部へ送付する。
- (8) 石巻専修大学経営学部は、最終決定を基に、志願者に受入決定通知書を交付する。

#### 7 履修科目、履修方法等

受入学生は、専修大学のゼミナールに所属する。履修上限単位数は、20単位（ゼミナールを含まず）とする。可能な限り石巻専修大学及び専修大学における所属ゼミナールの研究テーマと関連のある科目を中心に履修する。修学期間中の履修科目の変更は、原則として認めない。受入学生が履修できる科目、履修方法及び試験実施方法は、専修大学経営学部の定めるところによる。

#### 8 成績評価、単位の認定等

専修大学経営学部における成績評価は、専修大学の科目担当者の定める成績評価方法に基づき行う。単位の認定は、専修大学からの成績報告に基づき、石巻専修大学において行う。

#### 9 授業料等

専修大学における授業料、施設費、教育充実費及び検定料等は徴収しない。ただし、実習・教材等で費用が必要となる場合は、その実費を徴収することができる。

#### 10 施設及び設備の利用

専修大学は、図書館その他の施設及び設備を利用できるよう可能な限り尽力するものとする。利用方法は、専修大学の定めるところによる。

#### 11 住居

宿泊費及びその他経費は、自己負担とする。生田研修館を利用する場合は、費用を徴収する。生田研修館以外の宿泊施設を利用する場合は、専修大学は一切の責任を負わない。

#### 12 通学

専修大学での通学については、自家用車での通学は許可しない。

## 4 石巻専修大学経営学部・大学院経営学研究科5年一貫教育プログラム

〔平成19年10月11日  
制定〕

本プログラムは、石巻専修大学大学院学則第8条及び石巻専修大学学位規程第6条の但し書きに基づき、経営学研究科修士課程を1年の在学期間で修了するためのプログラムで、学部と大学院が連携して教育を行うものである。

### 1. 学部・大学院一貫教育プログラムの概要

大学院修士課程の修業年限は2年ですが、「学部・大学院一貫教育プログラム」は学部4年次から大学院教育をスタートさせ、大学院修士課程を実質1年で修了することを目指すためのコースです。このコースを修了し修士の学位を取得するためには、修士課程に1年以上在学し、32単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受け、修士論文の審査および最終試験に合格し、優れた業績を上げたと認められることが必要です。

年次	学習の方法と履修の仕方		選考と学位取得
学部 1年			
学部 2年			
学部 3年	前期	◆前期終了まで100単位以上修得済みであること ◆2年次までに履修すべき科目がすべて単位修得済みであること ◆成績は概ね上位20%以内であること	
	後期	◆修士論文に結び付くような卒業論文の指導を受けていること	履修資格者選考（2月）
学部 4年	(学部)  ◆卒業要件を満たすよう単位を修得する ◆修士論文に結び付くような卒業論文を作成する	(大学院)  ◆大学院の科目について14単位を限度に履修する	大学院進学者選考（9月）  経営学部卒業 【学士(経営学)】
大学院修士1年	◆大学院の科目を18単位以上履修する ◆修士論文を作成する ◆「論文題目届」の提出（10月） ◆修士論文を完成し提出（1月）		経営学研究科修了 【修士(経営学)】

### 2. 「学部・大学院一貫教育プログラム」の履修方法

- (1) 学部3年次の一貫教育プログラム履修資格者選考出願時に、大学院演習指導教員を決定する。
- (2) 学部4年次には、卒業に必要な学部科目を履修する。履修科目については、大学院演習指導教員と相談の上、修士論文のテーマに関連する科目を履修し、「卒業論文」の指導を受ける。
- (3) 学部4年次には、大学院演習指導教員と相談の上、大学院修士課程科目について、14単位を限度に履修する。  
修士課程の授業科目 8単位  
大学院指導教員の演習 4単位  
外国語専門文献講読 2単位
- (4) 学部4年次9月に実施される「学部・大学院一貫教育プログラム」大学院入学試験に合格した者は、修士課程1年次に、大学院演習指導教員の演習4単位を含む18単位以上を履修する。
- (5) 必要な研究指導を受け、修士論文の審査および試験に合格した者には【修士(経営学)】の学位が授与される。

#### 附則

この申し合わせは、平成19年10月11日から施行する。

#### 附則

この申し合わせは、平成24年4月14日から施行する。

**「石巻専修大学経営学部・大学院経営学研究科5年一貫教育プログラム」**  
**学生募集要項（3年次）**

		学部大学院一貫教育プログラム 履修資格者選考（3年次）	学部大学院一貫教育プログラム大学院入学試験（4年次）
1. 募集する研究科・専攻、募集人員及び選考方法	(1)募集する研究科・専攻	大学院経営学研究科経営学専攻 (経営学コース・会計学コース・経営情報学コース)	
	(2)募集人員	若干名	
	(3)選考方法	2月、書類選考及び面接により実施	9月中旬（修士『一貫教育プログラム』入学試験日）、書類選考及び面接により実施
	(4)選考場所	石巻専修大学内（別途連絡）	
2. 出願資格及び出願期間・出願先	(1)出願資格	① 本学経営学部3年次に在学していること ② 「学部大学院5年一貫教育プログラム」で進学を希望していること ③ 3年次前期までに履修した科目の総合成績が経営学部の上位20%程度に入っていること ④ 3年次前期終了時点で、2年次までに履修すべき科目がすべて単位修得済みであること ⑤ 3年次前期終了時に修得した単位が100単位以上あること ⑥ 学部指導教員（ゼミナール担当教員または、これに準ずる教員）の推薦があること	① 本学経営学部4年次に在学し、「学部大学院5年一貫教育プログラム」を履修していること ② 大学院指導教員の推薦があること ③ 修士論文に結び付くような卒業論文の指導が行われており、卒業論文が執筆中であること。（出願書類に卒業論文の概要添付） ④ 大学院修士課程の授業科目履修状況（授業担当教員の成績表に相当する前期分の調査書） ⑤ 学部卒業要件を満たしていること
	(2)出願期間	2月	修士『一貫教育プログラム』入学試験出願期間内（詳細は後日通知）
	(3)出願先	石巻専修大学事務部事務課（大学院係）	
3. 出願書類		・所定の願書 ・成績証明書 ・1年次から3年次前期までの成績通知書（コピー可） ・学部指導教員（ゼミナール担当教員またはこれに準ずる教員）の推薦書 ・通知用封筒（本学所定・切手不要・連絡先を記入）	・所定の願書 ・大学院指導教員の推薦書 ・成績証明書 ・卒業見込証明書 ・卒業論文概要 ・大学院修士課程の授業科目履修状況調査書 ・通知用封筒（本学所定・切手不要・連絡先を記入）

以 上